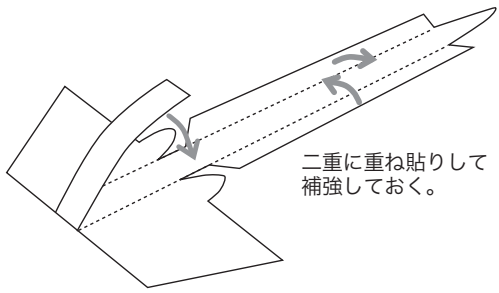


疫病退散!

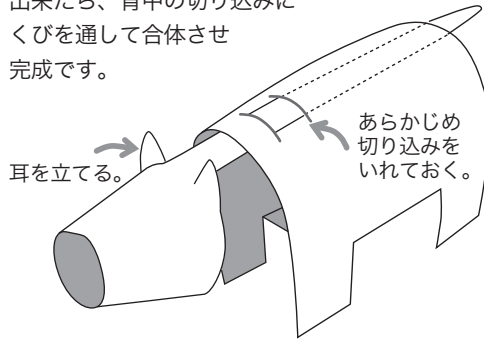
会津の赤べこをつくろう!



二重に重ね貼りして補強しておく。

赤べこのあたま部分はあらかじめ補強のため図のように接着します。次に A 部分をつなぎあわせてあたま部分は完成です。

B 部分を繋ぎあわせて胴体が出来たら、背中中の切り込みにくびを通して合体させ完成です。

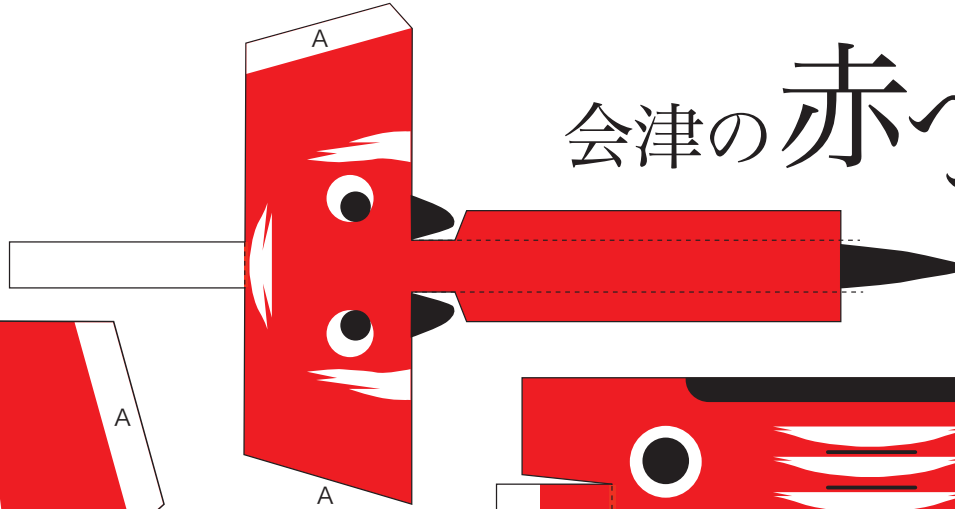
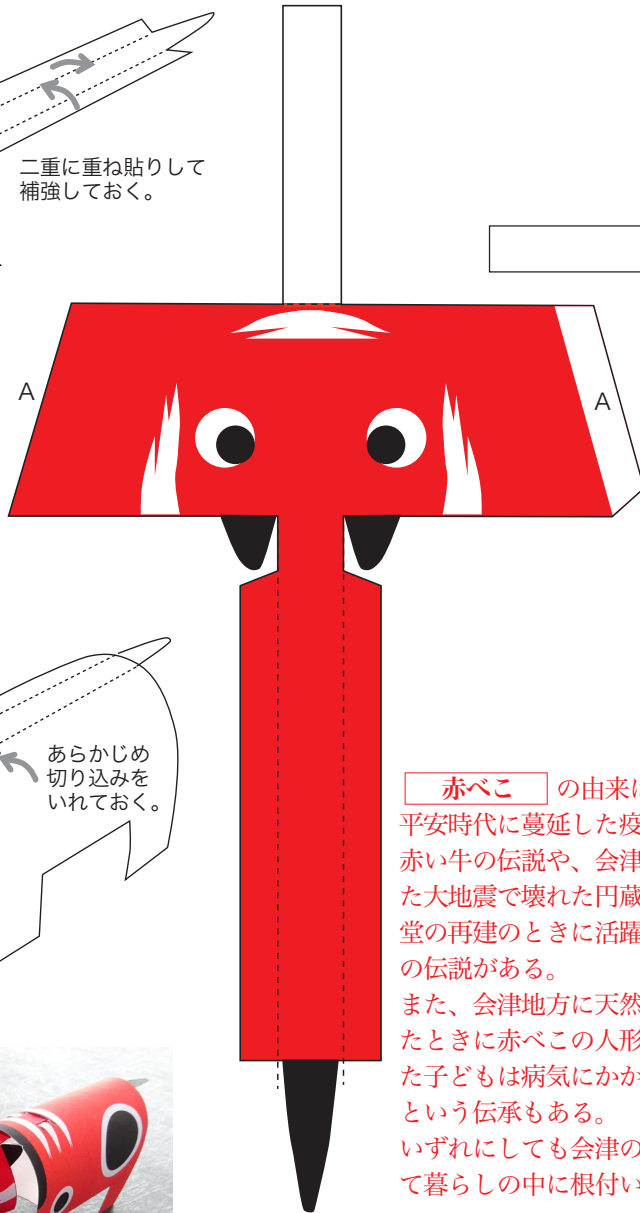


耳を立てる。

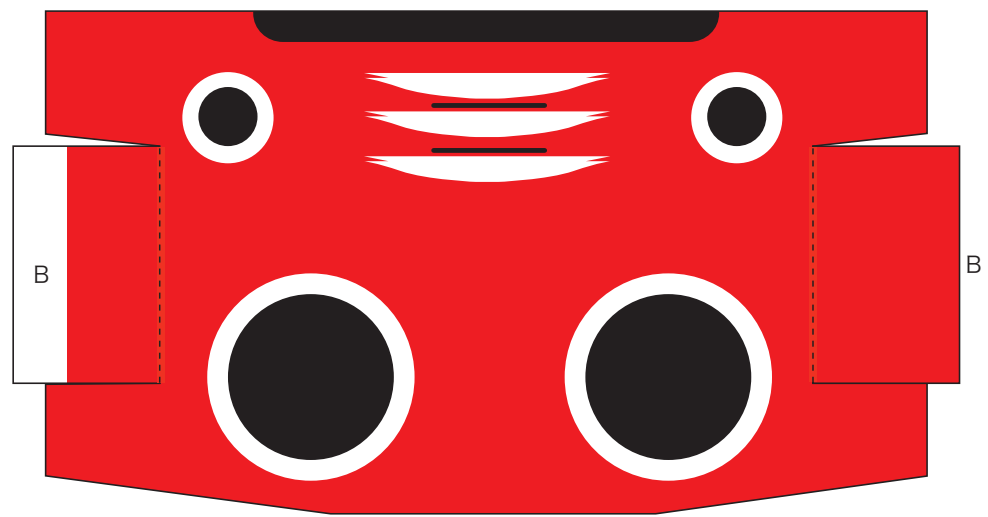
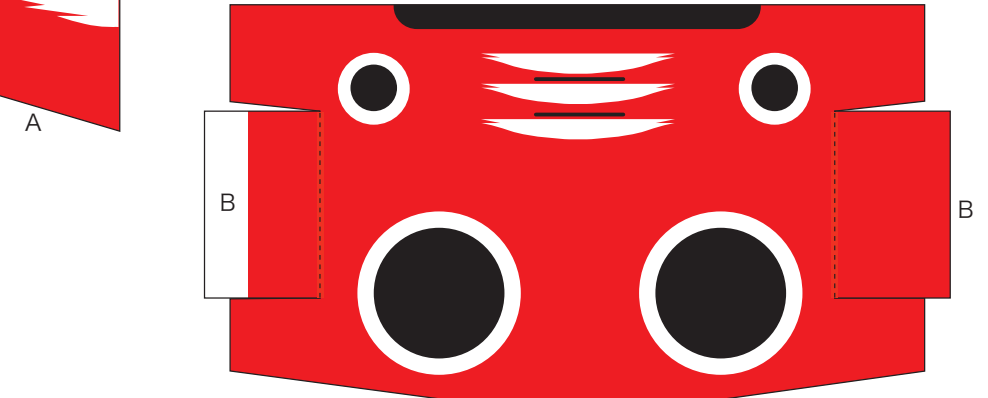
あらかじめ切り込みをいれておく。



SASE DESIGN OFFICE 2020



赤べこ の由来は諸説あり、平安時代に蔓延した疫病を払った赤い牛の伝説や、会津地方で起きた大地震で壊れた円蔵寺の虚空蔵堂の再建のときに活躍した赤い牛の伝説がある。また、会津地方に天然痘がはやったときに赤べこの人形を持っていた子どもは病気にかからなかったという伝承もある。いずれにしても会津の縁起物として暮らしの中に根付いている。



主催：会津美術協会
後援：会津若松市／会津若松市教育委員会／会津若松文化団体連絡協議会
協力：会津若松商工会議所／福島県立博物館

第1回会津若松市発信
ろう城アート展